

2012年2月20日

総理大臣 野田佳彦 様
経済産業大臣 枝野幸男 様
原発担当相 細野豪志 様
官房長官 藤村 修 様

**原発運転の再開判断にあたっては、事故原因を客観的・徹底的に究明しようと
している、国会の福島原発事故調査委員会の調査・結論を待つべきです**

国内のみならず国際的にも大きな衝撃を与えた福島原発事故について、その実態や原因を客観的・徹底的に解明するため、昨年12月8日に、国会に福島原発事故調査委員会が設置されました。6月頃に結論を出すべく調査・検討が進められています。

福島原発事故の原因は、津波の前に地震動で配管が損傷した可能性も否定できません。このように事故原因についてもまだ明らかになっていない状況です。また、原子力安全委員会は防災範囲を見直し、拡大することを決定しました。さらに福島原発事故の被害の実態からも、これまでの立地県・町のみならず、近隣自治体では原子力防災についての議論と、電力事業者との安全協定締結の動きが進んでいます。

このような中にあって、原子力安全・保安院は、関西電力の大飯原発3・4号のストレステスト第一次評価書案が、複数の委員の不在の中、1月18日の「ストレステスト意見聴取会」に提示されました。その後、原子力安全委員会とIAEA（国際原子力機関）による評価を経て、4大臣が運転再開の政治判断を下し、地元了解を経て2～3月には運転が再開される可能性があります。大飯原発3・4号の次には、伊方原発3号などがその後に続くとも言われています。

しかし、ストレステストは、福島事故の実態を反映していないばかりか、「合格基準」さえ明らかになっていません。

上記のとおり、国会に設置された事故調査委員会の調査・検証は始まったばかりであり、このように拙速に運転再開の手続きを進めることは、国会軽視と言わざるを得ません。原発の運転再開の判断にあたっては、国会の福島原発事故調査委員会の調査・結論を待つべきです。

衆議院議員 太田 和美
参議院議員 糸数 慶子
参議院議員 福島 みづほ
衆議院議員 服部 良一
衆議院議員 辻 恵
参議院議員 又市 征治
衆議院議員 川内 博史
参議院議員 川田 龍平

衆議院議員 柿沢 未途
衆議院議員 笠井 亮
衆議院議員 中島 隆利
衆議院議員 柳田 和己
衆議院議員 阿部 知子
衆議院議員 石川 知裕
参議院議員 吉田 忠智
衆議院議員 照屋 寛徳
衆議院議員 篠原 孝
参議院議員 平山 誠
参議院議員 大河原 雅子
衆議院議員 永江 孝子
参議院議員 紙 智子
衆議院議員 穀田 恵二
参議院議員 谷岡 郁子
衆議院議員 重野 安正
参議院議員 山内 徳信
衆議院議員 吉泉 秀男
衆議院議員 平 智之
衆議院議員 橋本 べん
参議院議員 井上 哲士
衆議院議員 佐藤 ゆうこ
衆議院議員 杉本 かずみ
衆議院議員 佐々木 憲昭
衆議院議員 くしぶち万里
衆議院議員 京野 きみこ
衆議院議員 斎藤 進
衆議院議員 近藤 昭一
衆議院議員 馬淵 澄夫
衆議院議員 稲見 哲男
衆議院議員 中川 治
衆議院議員 中後 淳
衆議院議員 渡辺浩一郎
衆議院議員 斎藤恭紀
衆議院議員 石田三示
衆議院議員 岡本英子
衆議院議員 松木けんこう
衆議院議員 中島政希
衆議院議員 首藤信彦

(47名)